



佐藤・高松・音田

2017年度 おもしろ「子ども科学 手作りおもちゃ体験」科 講師陣を紹介します！



教育論から<体験講座>まで
13名の講師陣です！

「いつでも・どこでも」あなたの一步が未来です！

- | | |
|-------|---|
| 石金直美 | 大阪大学・学生相談室・保健センター・准教授 ★子ども達の視点にた
って、<子どもの心>を考えます。毎回たのしい講義。(5月11日) |
| 和田征士 | NPO法人大阪府高齢者大学校・理事長 ★<法円坂子どもプラザ>や
高大<子ども事業>について理事長の考えをお聞きします。(4月27日) |
| 西村寿雄 | 元寝屋川市立小学校校長・科学読み物研究会主宰★最近の著書が「地球
の発明発見物語」。鉱物学・岩石・電気などがご専門。「たのしい石こ
ろ学入門」は子ども達に人気の授業です。(9月28日) |
| 林純一 | 元京都女子大学中学、高校教諭・引き続き・講師 ★京都大学で化学を
専門に研究・私学科学研究賞受賞。授業がたのしい！(10月26日) |
| 竹内清和 | 元枚方市立小学校教諭・京田辺たのしい授業研究会主宰 ★多様なスキ
ルをもとに、多くの実践を積み重ねきた先生。今年度も科学の授業では
なく、「絵画入門・キミ子方式」の授業を予定。(10月5日) |
| 山本俊樹 | <おりぞめ仙伝人>おりぞめワークス・主宰★関西では、<おりぞめ>
研究の第一人者。<おりぞめ>は大人気のもの作り。ぜひスキルをマス
ターしてください。(5月18日)★<法円坂子どもプラザ>では、高松
CDが<おりぞめ先生>として活動します。 |
| 井藤伸比古 | 「科学読み物・<社会の科学>の授業プラン」などを作成。著書には、
「ハングルを読もう」「<子>のつく名前の誕生」(仮説社)など多数。
研究者の授業にご期待下さい。(12月7日) |
| 西田隆 | 元高槻市五百住小学校校長・ラッキョ工房主宰 ★たのしいもの作りを
広めるために精力的に活動中。天体観測などもご専門です。(2月8日) |
| 小林保 | ミスターマジックリン！の登場。「マジックとは錯覚の科学だ！」と言
っていいほど<認識>の面白さを使ったスキル。話術もたのしい！マジ
ックリン！さんにご期待ください。(12月21日) |

佐藤和次 講師・CD	電気の専門家。ブログ「わくわく子ども教室」を編集。「自由に編集できるスキル」には感動です。写真・山登り・木工など趣味も多彩。優しい語り口で「たのしいくもの作り」と科学実験講師として活躍中です。<法円坂子どもプラザ> Bクラス担当講師
高松真津子 講師・CD	40年近く、堺で小学校の先生として実践。子ども達を引き付ける話術など、教育のスキルは一流。今は、<煮干しやイカの解剖教室> <おりぞめ教室>の講師。そして科学実験講師として活躍中です。<法円坂子どもプラザ> Aクラス担当講師
音田輝元 講師 子ども事業 宣伝係	大東市で35年間先生をし、その後高大へ。運良く、高大の子ども事業（SA子ども教室の開講）に関わることができ活動。「大阪・科学の授業をたのしむ会・代表」。<法円坂子どもプラザ> Bクラス担当講師 ★平成23年度から、「大阪府高齢者大学校講師・理事」としても実践しています。高大への要望等があれば遠慮なく言ってください。
子ども教室 OBG会 講師	<手作りおもちゃ>など、多様なスキルを紹介してもらいます。<SA子ども教室OBグループ会>代表の藤澤様や副代表の筒井様を講師にお迎えして授業してもらおう予定です。（企画担当・佐藤和次）

★<SA・子ども教室>7年目が始まりました。「どんな楽しい一年間になるのかなあ」と、**大きな期待でいっぱい**です。2017年度も皆さんに出会えたことに感謝して！笑顔で歩んでゆきたいと思います。幾つになっても、**学校は<幸せ>に出会うところですよ！**

学校って・・・

●学校は…「ぼく・わたし」以外のたくさんの人々との出会いの場。人間って、人と人との間で、はじめて幸せに生きれる存在。「ぼく・わたし」が自分自身に自信を持てるときってね…それは、「ぼく以外の人がぼくを認めてくれた時。ぼく以外の人が、ぼくを好きになってくれたとき。「あー、ぼくも人の役に立つんだ嬉しいなあ…」と思えたとき。人間は、胸をはって自分のことを自分で好きになれるのです。自分のすばらしさの発見ができるのです。そして、他人にもやさしくなれるのです。

学校は…「ぼく・わたし」以外のたくさんの人々との出会いの場。僕は、その学校の授業で、目の前の人たち、それぞれに「自分の存在のスバラシサ」と「他人の存在のスバラシサの発見」の機会・チャンスを与えられたらシアワセだなあと思っています。（小原茂巳・明星大学）

★大好きな小原さんのメッセージ！もう何年も使っているメッセージですが、「本当にそうだなあ…」と思えることが嬉しいです。（音田輝元）